

主力品目の生産条件の改善による付加価値化及び担い手確保による安定した農業生産の実現

ちくごなんとうぶ
【福岡県筑後南東部地域】

やめし
八女市

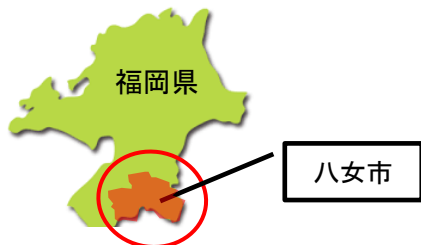
中山間地ルネッサンス

【地域の現状・課題】

- 八女市はお茶、電照菊、いちご・冬春ナス・冬春トマト等の施設野菜、柑橘・キウイフルーツ等の果樹等の生産が盛ん
- 高齢化・人口減少により農業従事者及び担い手不足が課題
担い手(販売農家における経営者)の平均年齢64.5歳、65歳以上占める割合:51%
- 地区の主力品目である温州みかんについては、生産効率及び品質の向上を図るため、生産条件の改善が必要
(平成28年度JA部会実績)
栽培面積466ha 生産量8,000t
生産額1,615百万円
- 経営の安定化のため、法人化の推進が必要
- 高齢化等の進行により、集落が連携した鳥獣被害対策の強化等が必要

【地域の位置】

福岡県筑後南東部地域 八女市
(指定地域:過疎、振興山村、特定農山村)



中山間地農業ルネッサンス推進事業

- 中山間地域における生産条件の改善に向けて、各集落での検討会・各種施策に関する説明会を実施
(取組概要)
6月に、237集落を対象に、鳥獣被害防止対策等の中山間地域振興に関する事項について、説明会を5回実施

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

- 農地造成と併せ農道、排水路、かんがい施設を整備(22.7ha)
- 園地整備の結果、機械化による労働力の削減、生産性の向上、安定した用水源の確保が実現

【農山漁村地域整備交付金(中山間地域総合整備型)(支援事業)】



園地整備



糖度を上げるマルチドリップ栽培

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

- 鳥獣害防止対策の取組強化、地域資源の適切な保全管理の強化など、地域を下支えする取組を展開

【鳥獣被害防止総合対策交付金、多面的機能支払交付金(支援事業)】

【中山間地域等直接支払交付金(連携事業)】



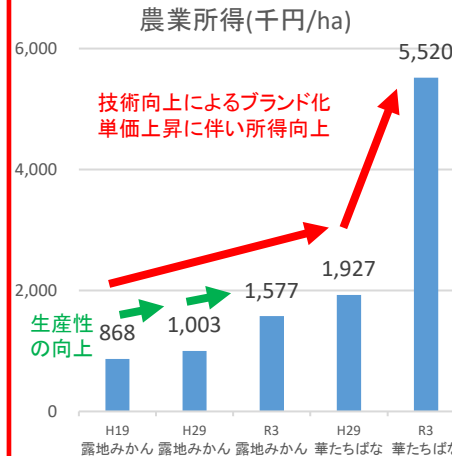
関係者による草刈り作業

事業の効果

- マルチドリップ栽培により生産された高糖度みかんを「華たちばな」としてブランド化



- ブランド化による付加価値で市場の販売単価が上昇。地区の農業所得を押し上げることに成功。
- 鳥獣被害対策を効果的に組み合わせることで、出荷量及び販売額が増加し、農業者の所得向上が図られている。



※JA福岡八女資料及び八女市資料から算出